



## 「香川県立保健医療大学 大学院保健医療学研究科博士前期課程を修了して」

高橋 宗孝（三豊総合病院）

本年、3月に香川県立保健医療大学 博士前期課程を無事、修了することができました。

卒業に際して臨検タイムスへの原稿を依頼され、何について書こうかと考えましたが、何故、今頃大学院なのかと疑問に思われた方もいると思いますので、昔を振り返り進学までの経緯について書こうと思います。

大学院に入学するきっかけは、思い起こせば30年ほど前、30歳くらいに基礎学力の無さを痛感した事に初まります。学生時代、授業をサボりまくり、国家試験勉強のみ真面目にやって臨床検査技師となった私は事あるごとに基礎学力の欠如を感じることが多々出てきました。基礎知識が不十分のまま専門知識を積み上げると、そんなです最終的に消化不良の知識となってしまうのです。

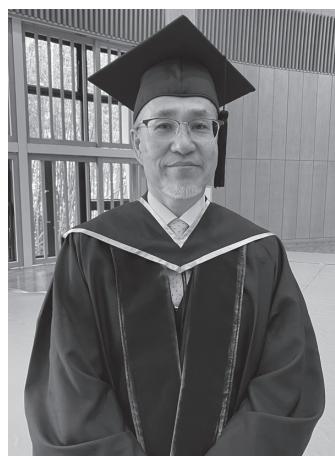
30年前は認定資格というものがあまり整備されてなく（一級、二級臨床検査士や細胞検査士はあった）、下の子供が幼稚園に入った頃（1993年頃）放送大学を受講し始めました。その当時はBSデジタル（平成23年より放送開始）での放送もなく、香川大学内の地域学習センターまで通っていました。単位を3つくらい取得した頃、上の子供がサッカークラブに入ることになりました。休日を放送大学への通学にあてていましたが、サッカークラブの練習、試合、審判などで放送大学へ通う機会はほぼ無くなり、放送大学は自然消滅となりました。その後も、機会があれば勉強を再開したいと思う気持ちはありましたが病院での日直、宿直、子供たちのサッカー、野球、バスケットボール、塾など結構多忙で、本来無精者の私の性格もありなかなか、学び直しのきっかけは訪れませんでした。

50歳手前で下の子供が大学進学することになり、ゆとりができると思いましたが病院機能評価、技師長就任、香川県臨床検査技師会会长就任などでアッという間に定年間近となりました。これまでに医療情報技士、認定輸血検査技師、医療安全管理者などの資格は取得していましたが、これらに関する業務は資格が無くてもできることがほとんどです。また、他職種間ではお互いの認定制度の必要性や重要性が正しく認識されていないことが多いのが現状です。確かに認定資格取得は技術や知識の到達度の確認や信頼の獲得のために非常に重要ですが、検査室管理業務や香臨技、日臨技の活動を続けるうちに認定資格取得に加えて臨床検査技師の技術、基礎知識のレベルアップ、社会的地位の向上の為にも社会的に広く認知されている修士、博士の称号を得ることが必要ではないかと考えるようになりました。

しかし、香川県の西の端、観音寺市から働きながら卒礼の大学まで通えるのか？私が仕事をしながら卒業できれば、これから大学院で勉強しようと思っている人達の励みにもなるのではないかと。それに年も年な私にとって最後の機会かなと。そして大学院進学を具体的に考え始めたのが入学の5年ほど前でした。そして何とか、2018年4月に香川県立保健医療大学大学院に入学することができました。

在学時、私たちの学年は社会人が臨床検査学専攻で2名、看護学専攻では6名と多かったのもあったのでしょうか、休日の集中授業やe-ラーニング授業など通学の負担を軽くしていただけた先生方のおかげもあり、なんとか単位を取得することが出来ました。特に卒論では多田先生に大変助けられ、何とか卒業にこぎつけました。この場をお借りいたしまして、お世話になりました多田先生をはじめとする香川県立保健医療大学の先生方や職場の同僚、後輩にお礼を申し上げたいと思います。「ありがとうございました。」

大学院博士前期課程は2年間、後期課程は3年間学びます。社会人の皆さんには仕事、家庭などいろいろ大変で時間も取りづらいかもしれません、少しでもやる気があれば是非、入学を検討してください。私は入学が遅すぎ、職務に生かすことはあまり出来ていませんが、多くの検査技師が修士、博士の資格を有することで職場での臨床検査技師業務の信頼性の向上や地位向上等に繋がると思います。また、認定資格と違い、病院、クリニック以外の仕事に転職する場合にも大きな武器となりますので、皆さん大学院への就学を考えてみてください。新しい何かは得られると思います。



## 春の叙勲 瑞宝単光章受章

令和2年「春の叙勲」で「瑞宝単光章」を梶川達志様（元香川大学医学部附属病院検査部 臨床検査技師長）が受章されました。公共の仕事に長年従事し、ご功労が認められましたことを心よりお祝い申し上げます。

## 憲法記念日 知事表彰受賞

令和2年憲法記念日知事表彰を高橋宗孝様（三豊総合病院）が受賞されました。

長年にわたる保健衛生分野でのご功績が認められたことは、私たち検査技師にとって大変名誉なことです。  
今回の受賞に際しまして、心よりお祝い申し上げます。

## 2020年度 香臨技定時総会 出欠票・委任状・議決権行使書の集計結果について

山本 直子（社医）大樹会総合病院回生病院

会員の皆様には、出欠票・委任状・議決権行使書の速やかな提出にご協力頂きましたことに、まずは御礼を申し上げます。さて今年度の香臨技定時総会は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、定時総会を縮小して開催することが決定しました。またそのような状況の中で今年度の総会は出席できない会員が多数いることが想定され、より多くの会員の意思を反映できるように議決権行使書を初めて導入致しました。このたびの出欠票・委任状・議決権行使書は施設長様及び自宅会員の皆様に2020年4月30日までにご返信頂きますようお願いしており、皆様のご協力で遅滞なく集計作業を開始できました。つきましては、総会への出欠・委任・各議案についての賛否を確認致しましたので、その結果についてご報告申し上げます。

### 1 2020年度香臨技定時総会への出席について

会員総数(名) (5/3時点)	出席者数(名)				出席率(%)
	総会出席	委任出席	書面出席	合計	
704	29 <内訳> 新旧役員 ; 15 班長・副班長 ; 3 その他 ; 11	188 <代理人指定内訳> 総会一任 ; 115 議長 ; 27 荒井会長 ; 21 その他個人 ; 25	335	552	78.4

### 2 各議案についての賛否について（総会開催前の時点）

議案	出席者総数	総会出席・委任(名)		議決権行使書(名)		賛成率(%)
		賛成	否決	賛成	否決	
第1号議案				335	0	60.7
第2号議案				333	2	60.3
第3号議案				334	1	60.5
第4号議案				335	0	60.7
第5号議案				333	2	60.3
第6号議案				335	0	60.7

## 2020年度 一般社団法人 香川県臨床検査技師会定時総会

日 時 : 2020年5月24日（日）10:00～

会 場 : 香川県立保健医療大学大講義室

総会の出欠票・委任状・議決権行使書の提出につきましては、会員の皆様の速やかなご対応とご協力を頂きましたこと、厚く御礼申し上げます。

総会の開催に際しては、新型コロナウイルス感染拡大により、不要不急の外出を控えること、3密（密閉・密集・密接）を避けることが求められている状況下ですので、手洗いや身体的距離の確保といった感染対策を講じ、出来る限り短時間の開催にしたいと考えています。引き続き皆様のご協力をよろしくお願ひ申し上げます。

## 《研修会のご案内》

2020年度香臨技・四県合同研修会（生理検査研究班）は2020年7月12日に開催を予定しておりましたが、2021年度7月に延期することになりました。一部の研修会すでに案内を配布しましたがお間違いなきようお願いします。

# 香川県立保健医療大学への新型コロナウイルスの影響

太田 安彦（香川県立保健医療大学）

世の中には新型コロナウイルスが蔓延し、人々の生活が非日常と化しており、医療現場においてもその対応に大変なことだと思います。先行きの見えない現状に皆不安な思いを募らせていることでしょう。報道でご存じかと思いますが本学においても3月に行われた卒業式・終了式は保護者、来賓が参加せず、規模を縮小して執り行いました。また、4月には予定されていた入学式も行われず、予定していた新入生歓迎会、琴平紅梅亭での宿泊研修等、全てのイベントも中止となりました。県外から本学へ入学してきた新入生にも、帰省の制限、外出の自粛等を課したことから、クラスメイトとも知り合うことさえできず不安な日々を過ごしています。本来であれば講義も始まり、いつもと変わらぬ日常があったはずです。しかしながら、国の非常事態宣言を受けゴールデンウィーク明けまで休校となりました。更には5月末までの延長と非日常が続いています。しかしこれ以上の休校は学生の不安が募るだけでなく、学力の低下にも繋がることから、5月11日より講義を開始することにしました。もちろん3密を避ける必要から、全国にない本学も遠隔会議システムWebex meetingsを利用した遠隔講義が開始されました。教員たちも慣れない遠隔会議システムに頭を悩ませながら講義を行っています。1日も早く日常を取り戻せることを祈るばかりです。また、5月12日には県より大学での対応について説明を求められました。内容的には大学を衛生検査所として開設できるのか、PCR機器の貸し出しはできるのか、看護協会、医師会を通じて教員の派遣をしているが、臨床検査技師はどうなのか、また、学生を派遣できるのかなどです。技師の派遣はともかく検査所の開設や機器の貸し出しをしてしまうと学内の実習、研究等ができなくなるため対応は難しいでしょう。

さて、暗い出来後ばかりですが、本学において1つうれしいニュースがあります。今年の3月の卒業式・終了式で初の保健医療学研究科博士後期課程の修了生が誕生いたしました。平成16年に保健医療大学として始まり、平成20年に大学院修士課程臨床検査学専攻科の開設、更には平成29年に保健医療学研究科博士前期・後期課程の開設と大学としてようやく形になりました。これも県内の各医療機関の臨床検査技師を含む医療関係者の皆様に支えていただいたおかげであると思っております。現在2期生、3期生、4期生と続いております。この流れを途絶えさせない様に教員一同努力していきます。わが国では医療の高度化が進み、それに対応すべく検体採取等の業務が追加され、また、今回の新型コロナウイルスの影響により、幸か不幸か報道においても臨床検査技師が注目されています。しかしながら、人手が足りず日々現場でも対応が難しい状況が続いています。こういった不測の事態に対応できるように、高度な技術を持った臨床検査技師を現場に派出していくことが本学の使命となります。また、現場の皆様におかれましても日常業務がお忙しいでしょうが、さらなる技術の向上、スキルアップのためにも是非大学院への進学を考えていただきたく思います。ピンチをチャンスに、今こそ臨床検査技師が一步前に進む時ではないでしょうか。



## 日臨技からのお知らせ

### 新型コロナウイルス感染症対策における日臨技認定制度の今年度一年間の凍結について

本年度も各認定制度に関して全国各地での育成・更新の研修会の計画を立ておりましたが、延期や中止をせざるを得ない状況にあり、受講する会員の皆様はもちろん、企画担当者や実務員、講師の方々も対処に難渋していることと推察しております。また、近々の研修会が開催できない場合を想定した代替手段も検討しておりましたが、いずれ新型コロナウイルスの影響が収束し研修会の開催可能な状況に推移したとしても、全会員に対する公平性を欠き、今年度の受験者および資格更新予定者に不利益が生じることが予想されます。

そこで、このたび下記の内容につき日臨技認定センター認定制度協議会として、今年度（令和2年度）1年間の各認定に関する認定センター主催の研修会および認定試験等をすべて中止とし、資格更新につきましては一律に1年間の更新時期の延期を認めることといたしました。

何卒みなさまにご理解いただき、会員の皆様への周知にご協力いただきたく、表記内容について下記のとおりご案内いたします。よろしくお願ひいたします。なお、各認定制度につき必要がある場合には対象者に別途連絡をする予定です。

#### 【決定事項】

今年度（令和2年度）1年間の認定センター主催の研修会及び認定試験をすべて中止する

#### 【具体的な処置】

- ・今年度に予定していた全ての日臨技主催の認定制度育成研修会および資格更新研修会の開催中止
- ・今年度に予定していた全ての日臨技認定制度の認定試験の開催中止
- ・全ての日臨技認定制度有資格者の認定期間にについて本年度1年間は更新時期を一律に延長
- ・各都道府県もしくは各認定団体に於いて実施される日臨技認定センター単位承認研修会に関しては日臨技事務局に申請があったものは従来どおり審議し承認する

## 香臨技からのお知らせ

### 香臨技ホームページリニューアル、および「臨検タイムス香川」印刷・発送中止について

2020年4月1日より香川県臨床検査技師会ホームページがリニューアルされました。これに伴いホームページアドレスが変更されました。（アドレス <https://kamt.or.jp/>）

（旧ホームページについては、2020年4月30日で更新を停止しますのでご了承ください。）

また、「臨検タイムス香川」については、ホームページへの掲載となりますので、今後は印刷・発送は行わないようになります。研修会案内や技師会情報等については、新しい香臨技ホームページをご覧いただきますよう、よろしくお願ひいたします。

#### ・編集後記・

今まだコロナの影響で毎日の生活にいくらかの制限があり、私たちの生活は今大きくかわりつつあります。

会員のみなさんも職場でのご苦労があり、またいろいろな工夫をしながらお仕事をされていると思います。

学会・研修会なども延期や中止となり、人と会う機会もめっきり少なくなりました。

でも、いつか終わります。次の学会・研修会ではみなさん笑顔で会いましょう。

十川 直美（キナシ大林病院）



#### ～香臨技 求人情報～

現在、香川大学医学部附属病院、その他の求人情報があります。

詳しくは、香臨技ホームページをご覧ください。

求人募集依頼の連絡先：立石 謹也（福祉部長・香川県立保健医療大学）

アドレス：[tateishi@chs.pref.kagawa.jp](mailto:tateishi@chs.pref.kagawa.jp)

#### 臨検タイムス原稿送付先

〒761-0104 香川県高松市高松町2365

医療法人社団 海部医院

小林 万代まで

TEL087-843-3666 FAX087-843-3667

Eメール：[kobaboobu0128@hotmail.co.jp](mailto:kobaboobu0128@hotmail.co.jp)

\*臨検タイムス香川は、香臨技ホームページで  
見ることができます。

#### 臨検タイムス香川 通巻298号

##### 【発行所】

一般社団法人 香川県臨床検査技師会

〒761-0704 香川県木田郡三木町下高岡2695-13

事務局携帯電話 090-5913-1385

##### 【編集責任者】 小林 万代 山本 直子

##### 【編集委員】 藤重 和久 十川 直美 森西 起也

##### 【印刷】 有限会社シーアンドシーイシハラ

令和2年5月印刷・発行